

岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会

理念・使命

岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会は、

- 1 誰もが、尊厳を持ち、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります。
- 2 地域共生社会の実現を目指し、県内保健・福祉・医療等の連携を軸に、県・市町村等の公的機関をはじめ多職種多機関との連携を図ります。
- 3 県内地域包括支援センター及び在宅介護支援センターの機能を発揮できるよう、職員資質向上のための研修の充実及び会員センター同士のつながりの拡充を図ります。

基本方針

- 1 組織強化に向けた取組
- 2 政策提言・意見要望
- 3 幅広い関係機関との連携
- 4 研修機能強化のための取組

令和7年度～令和9年度 中期ビジョン

- 1 組織強化に向けた取組
 - (1) ホームページを活用し、協議会の活動を広く周知するとともに、会員センター内の情報共有を図る。
 - (2) 未加入センターへの地区ごとの働きかけ及び研修案内等を通じ、加入促進を図る。
 - (3) 経費の削減に努めるとともに、協議会収支バランスの状況を見ながら、支出の見直しを図る。
- 2 政策提言及び意見要望
 - (1) 地域包括・在宅介護支援センターにおける現状及び課題を把握するとともに、地域包括ケアシステムの深化・推進を図るため、県、市町村及び関係機関に対し要望や提言を行う。
- 3 幅広い関係機関との連携
 - (1) 医療、介護、福祉等関係機関と相互に顔の見える関係を構築することを目的とし、情報・意見交換会等へ協力する。
 - (2) 多職種多機関と連携し、非常時の相互応援体制に協力する。
- 4 研修機能強化のための取組
 - (1) 地域包括ケアシステムや地域福祉推進のため、関係機関と連携し、専門性の向上を目的とした研修会を開催する。
 - (2) 各地区の研修機能の強化のため、県協議会として助言等の支援をする。